

（事業所名） こどもプラス千歳教室

（保護者数）34名 ※契約児童37名 （回収数）34名 （回収率）100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	2			子どもたちの要望に応え、時間で分けて運動や遊びの内容を変え、スペースをうまく活用しています。スペースは十分に確保できています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	3		・職員名簿がなく、把握できない。 ・職員の入れ替わりが多い。	児童指導員（教員免許）、保育士を適切な人数で配置し、日々の支援にあたっております。児童指導員4名、保育士3名（うち経験5年以上1名）。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	10	1	車いすを利用している方の観点から適切かどうかの判断が難しい。	バリアフリー化の配慮の必要は現状はないが、設備上の問題、子どもの行動に応じて安全に生活できるように、必要に応じて適度な声掛けや見守りを今後もしっかりと行っていきます。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	33	1		年齢的にも困りごとの変化があるかと思う。	保護者との面談の機会を作り、その他相談支援事業所、他事業所、教育機関（園・小学校）等の各関係機関と会議の実施等を行い、情報共有をした上で計画の作成・支援を行ってまいります。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	32	2			運動をしたいという気持ちを持たせていくために器具や備品を必要に応じ購入して遊びの幅を拡げたり、段階的に成長を促していけるような活動内容を考え、提供してまいります。
	6	運動プログラム、自由遊び、制作活動、調理活動、所外活動等、事業所で提供される活動に満足しているか？	32	2		・いろいろと企画して長期休みは特に楽しんで参加できている。 ・時間が少ない中でも工夫や提案があり、満足している。	さまざまな活動内容に多くの子どもが参加できるように曜日や利用児童の予定を振り返りながら保護者の要望とのバランスも考え、取り組みの機会を設けていけるように配慮をしていきます。
	7	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	21	2	活動する機会がない。またそういった機会があっても利用の日と重ならない。	事業所として外部の機関と交流する機会はありませんが、姉妹教室での交流は作りながら、関わりの幅を拡げていきたいと思います。
保護者への説明等	8	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34				ご契約時に負担額のことに関してや活動の内容を写真等も用いながら説明を行っています。具体的な活動内容も保護者の方と共有していただけるように都度必要に応じて説明を行ってまいります。
	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34				電話、LINE、または送迎の際等に場合によっては報告のみになってしまっていますが、各々支援者が聞いた情報を現場で共有し、成長に合わせた支援につなげられるように活かしていきます。
	10	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	1		毎回、助けられている。	事業所以外のことへの聞き取りや悩みに関して気軽に面談やお話できる環境を今後も作っていきながら、一緒に育児に関して考えていける関係性や信頼関係をさらに深めていきます。
	11	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	15	7	・半年に1回でも保護者会があってよかったかなと思う。 ・同じ悩みを持つ方との交流の場があると嬉しい。 ・保護者も参加できるイベントがあれば参加したい。	事業所内で保護者が集まってお話をしたり、悩みを共有する場を作ったり、親子で参加できるような企画・イベントを考え、家族支援にもなるような内容の活動も今後実施してまいります。
	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29	5		苦情がない。	保護者または利用児童本人からの苦情に対してまずはどの点がきっかけとなったか等の検証を行います。また、検証したことを改めて保護者に直接対面でお伝えし、今後どういった対応方法にしていくのかをお伝えし、ご理解ご納得していただけるように努めます。
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34				支援で見た様子や実際に支援をして感じた点を必要に応じてご家庭でまた話し合っていたり、それぞれで意思疎通がされるように配慮をしていながら、より安心してご利用ができるようにご対応をしていきます。
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	34				ホームページにて活動の内容をブログを日々更新して公開しております。ホームページを上手く活用していただけるような発信の仕方も工夫していき、事業所での取り組みに関心をもって持ってもらえるように努めていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	改善目標・工夫している点
保護者への説明等	15	個人情報に十分注意しているか	34				個人情報になる書類や物品、また写真の取り扱いや管理も常に緊張感を持って行い、漏洩などは絶対にないように確認を徹底いたします。
	16	子どもが写っている写真を使用する際、同意書等により保護者の同意は確認されているか	34				お写真の使用に関する同意書はご契約時に必ずご記入をいただき、承諾を得てから使用させていただいております。ご本人及びご家族にとって最適な選択をしていただけるように、ご相談をしながら同意書のサインをいただきます。
	17	子どもの写真をHP等で使用される際、個人情報に十分配慮なされているか	34				使用用途に応じて同意を得ているため、お写真を使用する場合には、利用児童の同意一覧を必ず確認し、用途別に適切に使用されているかを掲載前に（最低でも）二重チェックを行います。今後も徹底し、不手際がないよう心がけます。
避難時等の対応	18	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	4		AEDの設置、非常時の対応に関してや避難経路の情報がほしい。	マニュアル関係を保護者にも周知し、万事に備えた対応方法を予め知っていただき、不安を少しでも取り除けるように配慮していきます。
	19	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	9		簡潔でもいいので、こんなことをしたとお話をいただきたい。	非常災害時（地震・火災）に備え、避難訓練等の実施を今後も定期的にも実施していきます。またあらゆる想定に備え、訓練の必要があるとケースを洗い出し、実際に実施していきます。
満足度	20	子どもは通所を楽しみにしているか	31	3		・家族以外で安心できる居場所になっている。 ・慣れていないので、嫌がる時もある。 ・同学年のお友達がやめていくので、寂しい。	集団生活での息苦しさや不安感の強さ、気持ちのコントロールが難しい子どもにとって、自分らしくいられる場所を表面的にも心の中にも作っていけるような環境を今後も作っていきます。あいさつを元気に！「ありがとう」「ごめん」が言える人にまずはなれるように支援を行います。
	21	事業所の支援に満足しているか	34			お買い物やいろいろな社会経験もできてありがたい。	事業所外での活動や外出・お買い物等をお友達と一緒にいたり、公共施設に行ったりと新たな一面が見れる機会を今後も取り入れていき、お友達と楽しむことやルールを守って過ごすことを楽しく学べるような企画を考えていきます。
	22	職員の服装、接し方（態度）、言葉遣いは、適切であるか？	34				言葉づかいや行動一つ一つに気をつけ、ある程度の緊張感を持って業務に臨めるように意識をしていきます。ご本人・ご家族にとって安心して思いを伝えることができるよう支援を行います。